

日根野作三展

HINENO Sakuzo: A Retrospective

令和5年7月1日（土）から9月24日（日）まで

伊賀が生んだ、クラフトデザインの先駆者



1 《急須》1958-59年 多治見市美濃焼ミュージアム蔵

現在の三重県伊賀市に生まれ、陶磁器デザインの先駆者として知られる日根野作三（ひねの さくぞう、1907-1984年）。東京高等工芸学校に学んだ後、山茶（つばき）窯、国立陶磁器試験所でデザイナーとしての才能を開花させました。戦後に独立すると、伊賀を拠点として、愛知、岐阜、三重、滋賀などの陶業地を巡り、デザインの指導と普及に努めます。

ものづくりの機械化、量産化が進む戦後の時代において、日根野が力を入れたのは、手作りを主とした、近代的な感覚を持つ生活用具「クラフト」でした。日根野は作り手が得意とする技術や個性、地域それぞれの多様性を活かした、人間味あるデザインを説いています。

本展は、各地に残される作品資料約180点から日根野作三の生涯をたどる、過去最大規模の回顧展です。今もなお色あせない日根野作三のデザインの魅力を、ぜひお楽しみください。

【展覧会概要】

会期 令和5年7月1日（土）から9月24日（日）まで

会場 三重県立美術館（三重県津市大谷町11）

開館時間 9時30分から17時まで（入館は16時30分まで）

休館日 毎週月曜日（7月17日、9月18日は開館）、7月18日（火）、9月19日（火）

観覧料 一般 1,000（800）円 学生 800（600）円 高校生以下無料

- ・（ ）内は前売りおよび20名以上の団体割引料金
- ・この料手で、「美術館のコレクション」、柳原義達記念館もご覧いただけます。
- ・生徒・学生の方は生徒手帳・学生証等をご提示ください。
- ・障害者手帳等（アプリ含む）をお持ちの方および付き添いの方1名は観覧無料。
- ・県内学校（小・中・高・特別支援）等が来館する場合、引率者も観覧無料（要申請）。
- ・毎月第3日曜の「家庭の日」（7月16日、8月20日、9月17日）は団体割引料金でご覧いただけます。
- ・主な前売券販売所 チケットぴあ、ファミリーマート、セブン-イレブン他

主催 三重県立美術館

助成 芸術文化振興基金、公益財団法人三重県立美術館協力会

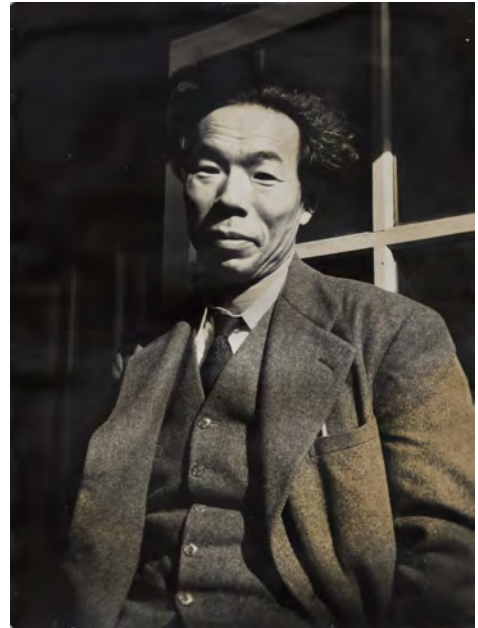
特別協力 多治見市美濃焼ミュージアム

後援 伊賀市、伊賀市教育委員会

【日根野作三（1907-1984）とは】

現在の三重県伊賀市生まれ。東京高等工芸学校工芸彫刻部卒業後、愛知県瀬戸の山茶窯で陶磁器デザイナーとして歩み始める。1933年から京都に所在した国立陶磁器試験所で活躍した後、戦後には独立し、伊賀を拠点としてフリーの陶磁器デザイナーとして活動した。愛知、岐阜、三重、滋賀で企業に陶磁器デザイン画を提供するほか、公設の陶磁器試験場でデザインを講義して生計を立てつつ、デザイン教育に力を注いだ。

特に手作りを主とした、近代的な感覚を持つ生活用具である「クラフト」の分野で活躍し、手作りの風合いや制作者の個性を生かした人間味あるデザインを説いた。

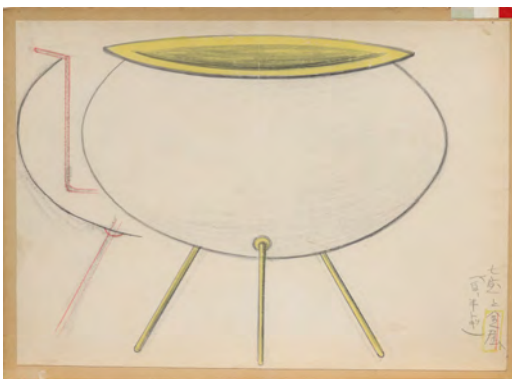


2 日根野作三肖像

【展覧会のみどころ】

👉 過去最大規模の回顧展

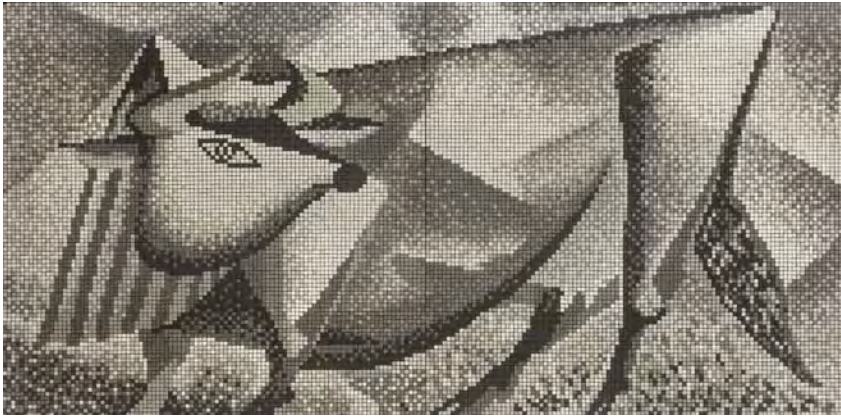
「クラフトデザインの草分け」、「戦後日本の陶磁器デザインの80%は日根野氏が作られた」といわれた日根野作三。生前にはその功績が広く認められていましたが、没後にはその顕彰の機会は多くありませんでした。本展は、各地に残る作品資料約180点が一堂に会する過去最大規模の回顧展です。



3 《エマイユ花器 デザイン画》
1950-1960年代 安藤七宝店蔵



4 《皿 デザイン画》
1952年 岐阜県セラミックス研究所蔵



5

《牛》

1950年代

INAX ライブミュージアム蔵

👉 戦後の生活を彩った多彩な陶磁器が一堂に

日根野作三が目指したのは、生涯多くの人に美しい陶磁器を届けること。親しみやすく使いやすい陶磁器を目指して、日根野は日常生活のための陶磁器を多くデザインしています。本展では、日根野のデザイン画とともに、東海や関西の企業で製品化された陶磁器から、戦後の生活を彩った陶磁器の魅力に迫ります。

👉 知られざる三重の陶磁器の歴史も紹介

現在の三重県伊賀市に生まれた日根野は、愛知、京都で活躍したのち、1940年代から晩年に至るまで伊賀を拠点として活動しました。本展では日根野が関わりを持った伊賀の西山窯や佐那具（さなぐ）陶磁器研究所、四日市の瀬栄（せいえい）合資会社四日市工場などの作品を展示し、知られざる三重の陶磁器生産の様相を紹介します。



6 《セロリーセット》1950-1960年代 個人蔵

【会期中のイベント】

※手話通訳・要約筆記、その他支援をご希望の方は、2週間前までにご相談ください。

担当学芸員によるスライドトーク

担当学芸員が展示の見どころを解説します。

日時：7月23日（日） 14時から14時45分頃まで

8月19日（土） 14時から14時45分頃まで

9月10日（日） 11時から11時45分頃まで

会場：三重県立美術館地下1階講堂

定員：70名（先着順）／聴講無料／開始20分前より開場します。

【広報文】

案内文作成などにお使いくください。

100文字以内（94文字）

「現在の三重県伊賀市に生まれ、陶磁器デザインの先駆者として知られる日根野作三。手作りの風合いや遊びの余裕を重んじ、人間味あるデザインを提唱した日根野の生涯を陶磁器やデザイン画約180点から紹介。」

50文字以内（41文字）

「三重県出身、陶磁器デザインの先駆者である日根野作三の生涯を約180点の作品で紹介する。」



7 《塩釉コケシ花器》1961年
常滑窯業試験場蔵

【広報用画像のご提供について】

本プレスリリースの画像を広報用に提供します。
ご希望の方は、注意事項をお読みの上、
下記連絡先に希望の画像番号をお知らせください。

注意事項

- 画像については下記の作品情報を画像と一緒に掲載してください。
- 画像の作品部分への文字のせ、トリミングはご遠慮ください。
- 掲載物を1部、または紙面データを美術館にお送りください。
- ウェブ上に掲載する場合は、コピーガードをかけ、転載禁止の旨を明記してください。
- 画像データの広報目的以外の使用はできません。

- 1 《急須》1958-59年 多治見市美濃焼ミュージアム蔵
- 2 日根野作三肖像
- 3 《エマイユ花器 デザイン画》1950-1960年代 安藤七宝店蔵
- 4 《皿 デザイン画》1952年 岐阜県セラミックス研究所蔵
- 5 《牛》1950年代 INAX ライブミュージアム蔵
- 6 《セロリーセット》1950-1960年代 個人蔵
- 7 《塩釉コケシ花器》1961年 常滑窯業試験場蔵

【お問い合わせ】

三重県立美術館 こうそ 高曾（企画）、はら ないとう 原、内藤（広報）

TEL: 059-227-2100（代表） FAX: 059-223-0570

メール: bijutsu2@pref.mie.lg.jp

〒514-0007 三重県津市大谷町 11

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>